

今、この地域に何人いるのか——??

●時間別人口 ●曜日別人口 ●季節・月別人口

流動性人口推定データのご紹介

国内唯一のエリアマーケティングGIS専門メーカー

マップマーケティング株式会社
GISグループ 営業部

**Map
Marketing**

★流動性人口推定データの必要性★

■人口統計の現状と課題

《人口統計の現状》

総務省統計局が5年ごとに調査・発表している**国勢調査**における人口統計データは日本全国を網羅し、国や地方公共団体における様々な施策の立案・推進に利用されるのみならず、店舗開発・販売促進などマーケティング分野でも広く利用されています。

国勢調査は、居住者人口（夜間）、就業・就学者人口（昼間）を集約した統計データなので、**静的な人口**を対象としたマーケティングにおいては問題ありません。

《人口統計の課題》

- ◆商業施設への買物人口
- ◆レジャー施設へのレクリエーション人口
- ◆観光地への行楽人口 など…

こうした、時々刻々と変化する**人の流れや動き**は国勢調査には反映されていません。



すなわち、『**今、この地域に何人いるのか——??**』という人の流れや動きを反映した、実態人口でのエリアマーケティングが必要な場合、国勢調査データだけでは分析できません…。



★この課題を解決するのが **流動性人口推定データ** です★

★流動性人口推定データとは★

■流動性人口推定データとは一

静的な統計情報に、集客施設の流動人口（**定常流動**・**変動流動**）を加味したデータ

※流動的に人が集まる場所＝集客施設

■定常流動 と 変動流動

《分布イメージ図》



《定常流動》 特定の人が特定の場所に日常的に滞留

- 例) ●住宅（戸建、マンション）
●オフィスビル、事業所、学校

《変動流動》 不特定の人が入れ替わり立ち代り

- 例) ●商業施設、レジャー施設
●ホール・会館、スタジアム
●テーマパーク、観光地、行楽地
●駅、空港、SA・PA

★流動性人口の推定方法★

■流動性人口推定データとは—

静的な統計情報に、集客施設の流動人口（定常流動・変動流動）を加味したデータ

※流動的に人が集まる場所＝集客施設

■流動性人口の推定方法

	母数人口推定	変動パターンで按分
定常流動	建物の種別・規模から定常滞留人口を推定	定常的な行動パターン ●時間帯での変動 ●曜日別での変動
変動流動	施設の収容規模・稼働時間・滞在時間から来場者数を推定	施設ごとの時間帯での変動 ●曜日別での変動 ●月・季節での変動



合算 × 地域補正（都市度ディメンジョン）



流動性人口推計データ（エリア別）